

ダッチオープンでピザづくり 打合表

※打合せ終了後、事務室（8:30～17:30）で物品の購入手続きしてください。

※事前に団体担当者の方がご記入ください。

①記入日		月 日 ()	
②実施日時	月 日 () 時 分 ~ 時 分	④団体担当者	
③団体名		⑤緊急時の為の携帯番号	
		⑥参加者数	名
⑦活動のねらい	(該当に☑) <input type="checkbox"/> 仲間との協力 <input type="checkbox"/> 親睦 <input type="checkbox"/> アウトドアクッキング体験 <input type="checkbox"/> その他 ()		

⑧購入物品 ご利用の退所日に事務室にて請求書を発行いたします。必ず職員と教材申込書の数との確認をしてください。

※ 持参物品、事務室で購入予定物品、貸出を希望される物品に○印、または数量を記入してください。

物 品	木 炭	洗 剤	スポンジ	ふきん	軍手	着火剤	マッチ	ライター	ガスボン	古新聞	うちわ
持 参											
事務室で購入		常設しています					貸し出しできます				

⑨貸出希望用品

携帯用救急バッグ	個	懐中電灯	台
ダッチオープン【班に1つ】	つ	フライパン・ガスコンロ・残灰処理バケツ・火ばさみ【班に1つずつ】	
リフター【2班に1つ】	つ		
焚火台【1台でダッチオープン2つまで可能】	台	アルミホイール	1本
野外炊飯用具セット【班に1セット】 (1セットにつき食器類10人分)	セット	ダッチオープン手入れ用油 キッチンペーパー または 新聞紙	少々
包丁・まな板【班に2セット】	セット	ガストーチ	つ
計量カップ	つ	無線機【森の家 必須】	無線機番号 ()

※木炭（ダッチオープン・焚火料理用900円 1班に1セット）、ガスボンベ（1班に1つ200円）、布巾（1枚140円）、軍手（1組70円）、着火剤（1個160円）、

食材（1セット1670円） ピザ生地（強力粉、ドライイースト、塩、砂糖、オリーブオイル）、トマトソース（ホールトマト缶、玉ねぎ、おろしにんにく、調味料）、シーフード、チーズ、ベーコン、玉ねぎ、オリーブオイル

※キッチンペーパー（または新聞紙）は、ダッチオープン手入れ用油とともに使用します。

●打合せ時記入欄 ※以下、交流の家職員記入（記入者）

集合時刻	集 合 場 所							事前指導者
	()のかまど前・クラフト棟・森の家(雨天時:)							
かまどの割当	木	火	土	金	水	クラフト棟	森の家	班の合計数 (セット数)
班の定数	6	4	5	4	6	2	4	
班の数								
用具庫のカギの貸出 <input type="checkbox"/> 火のかまど <input type="checkbox"/> 金のかまど <input type="checkbox"/> 分電盤（水銀灯） <input type="checkbox"/> クラ左 <input type="checkbox"/> クラ右								

※貸出用具は、職員が炊飯場までお持ちします。その後、団体の担当者に引き継ぎます。

●活動の流れ

- ①打ち合わせ終了後、事務室(8:30~17:30)で物品の購入手続きをしてください。
- ②事前に健康チェックをしてください。(食中毒予防上、手指に傷がある方は、調理担当以外の係を担当してください。)
- ③服装・持ち物等整えて、指導開始時刻5分前には、指定の場所に集合してください。
- ④交流の家の職員が事前に説明(役割・準備・調理・片付け)します。
- ⑤準備ができれば活動を始めます。火災予防・火傷等には、万全の注意を払ってください。
- ⑥(かまどのみ)必要に応じて、“流し台灯”をつけてください。
- ⑦カラスなどが食材やごみを荒らすこともあります。目を離さぬよう管理してください。
- ⑧ゴミは、袋にまとめ、活動終了後に食堂に出してください。
- ⑨使った用具・食器類をきれいに洗い、水気を取り、数を確認してコンテナに納めてください。

※使った用具は、最終点検が終わるまで流し台の上、またはテーブルに並べておきます。ダッチオープンには別紙を参考にして片付けてください。

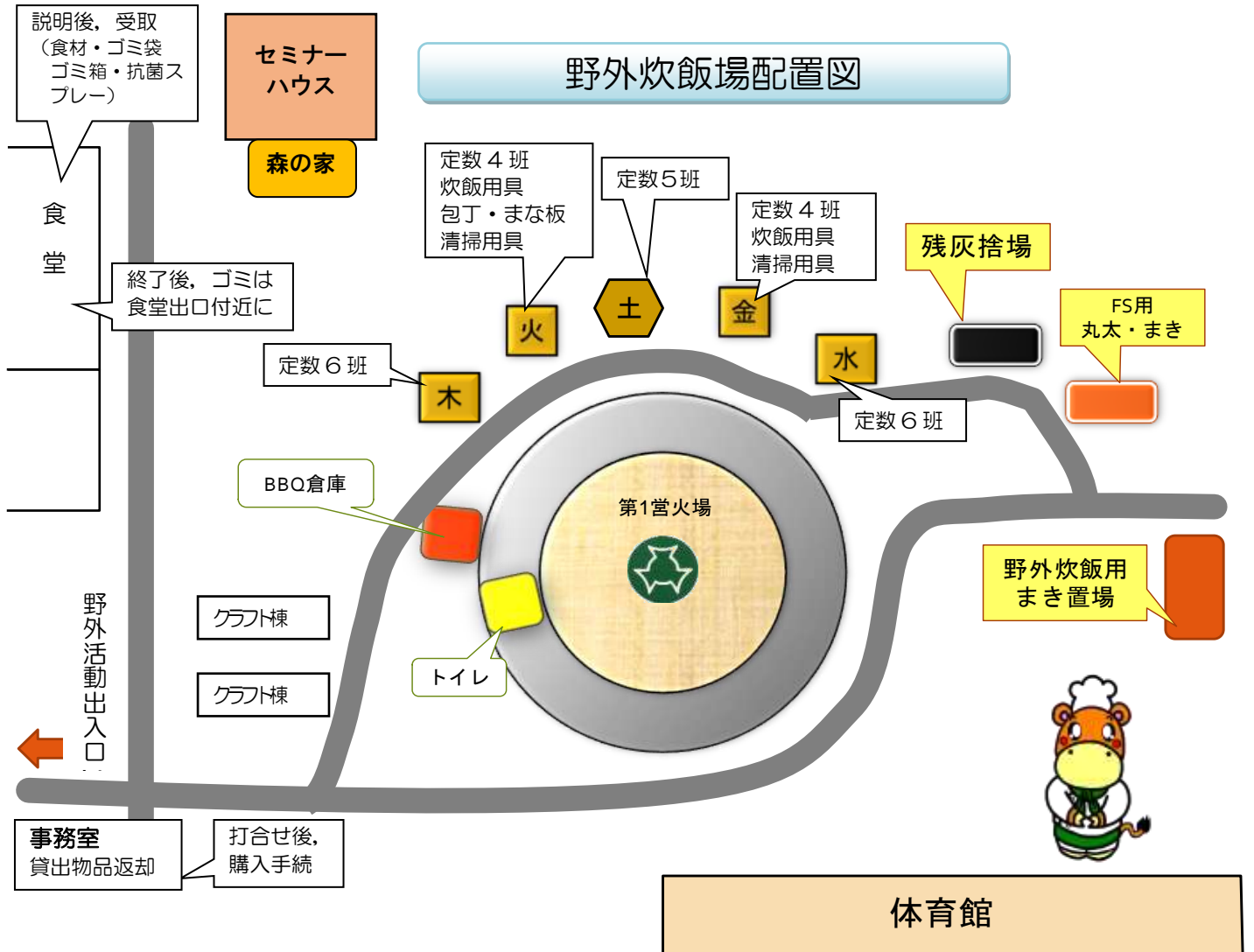
- ⑩使用した場所をきれいに清掃してください。清掃用具は、火・金のかまどの壁面にあります。流しや金網にたまったごみもすべてきれいに取り除いてください。営火場のトイレを使用した場合も清掃をお願いします。

①片付け終了後、各団体で一度点検をしてください。

●点検について

団体での点検が終わったら、事務室（内線 333）に連絡してください。職員が最終点検に伺います。その際、団体の担当者と各班の用具係で点検を受けてください。（やり直しもありますから、洗剤・スポンジ・布巾を準備しておいてください。）
最終点検が終わったら、用具を用具庫に納めてください。

野外炊飯場配置図



●新型コロナウイルス感染症に伴う対応について

(1) 事前指導について

- 可能な限り第一営火場で行います。
- クラフト棟や森の家を荷物置きに使用できます。
- 水気を十分にとり、アルコール食毒するため、布巾を多めにご準備ください。（交流の家でも貸し出せるものを若干準備いたします）

(2) 活動中について

- 1グループ最大10人ですが、活動に支障がない程度に、可能な限り少人数のグループ編成を行ってください。
- かまどや調理場所は広くとり、ゆとりを持って活動してください。
- マスクや必要に応じてエプロンを着用するなど、衛生面に配慮して活動してください。
- グループ同士で会話する際には、食材のある場所は避けて行ってください。
- 食堂で食材を受け取る際に、消毒用のアルコールを受け取ってください。使用する用具は、洗浄し、水気を取った後、アルコールで消毒を行ってください。
- 包丁、まな板は、安全上、使用後に指定の場所に戻してください。職員が消毒を行います。

(3) 活動終了後について

- ゴミは密閉し、食堂にお返しください。
- 持ち込んだものから出たゴミはお持ち帰りいただきます。各団体での対応をお願いします。
- 用具は、洗浄し水気を取った後、アルコールをかけて消毒してください。その後、乾いた布巾で拭いてください。
- 職員点検後、用具を元の場所に返却してください。
- 活動後は、貸出物品等をカゴに入れたまま事務室前にお返しください。